Japanese Patent 162783

Filed: March 18, 1941

Registered: March 12, 1944

Inventor: Hermann Stelzner

Patentee: Otto Heinrich Drager

Title of invention: Underwater mask

Abstract

The present invention relates to an underwater mask comprising a mouth piece (n) which is fixed to a short flexible hose (o) and set into a mask

connection piece (m) in the mask, and

movable in any directions.

a rubber cover (c) which is arranged on the mouth piece (n), projected outward a mask wall (b) and opened inward the mask and, wherein

the rubber cover (c) is useful for holding and operating a handle (e) of a nose clamp (a) which is operated from the outside of the rubber cover (c) and

The purpose of the invention is to provide an excellent underwater mask used by particularly a crew of submarine as a life saving outfit or the like to allow the crew to escape from a sinking submarine.

Reference mark

a: nose clamp b: mask wall c: rubber cover

d: rubber piece e: handle f: spring
g: hinge h: ring i: leg

j: pin m: mouth connection piece
n: mouth piece o: flexible hose p: bend

r: band

園面ハ本發明ニ依ル新水中「マスク」ノ

特許第一六二七八三號

● 強し オーター インステルフォル 現逸図リューベック・0・4 スリンゲルアレーバン ドレ 新 田 オ エット・ハインリッピ ドレ 代類人 辨理士 カーール・フォー ダー水中「マスク」

ル継談被覆體ヲ配設シ該被覆體ハ之ヲ外部ヨリ可動部ニ向ツテ開放シ「マスク」體ヲ超エテ外部へ突出セ接顧片ニ裝着シ前記呼吸口片ヲ「マスク」内部ノ「マスク」内の「セスク」内部ノ「マスク」内部ノ「マスク」の「

マラレ凡ユル方向ニ運動シ得べき鼻輻付部ノ把手ノ ・ で紹見すが、無人のでは、 ・ でのでは、 ・ でのでいるが、 ・ でのでは、 ・ でのでいるが、 ・ でのでのでのでのなが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでのでのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でのでのでのでのでいるが、 ・ でのでのでのでのでいるが、 ・ でのでのでのでのでいるが、 ・ でのでいるが、 ・ でいるが、 ・ でいるがでいるが、 ・ でいるが、 ・ でいるが、 ・ でいるが、 ・ でいるが、 ・ でいるが、

施形ヲ示セルモノニシテ第一 圏ハママスク | ノ正面||明細||(昭和+九年五月二十九日技術院設行)

競明ノ詳細ナル説明・本登明へ沈沒セル潜水艦ヨリ五闘ハ第二ノ實施形ノ筋面闘ヲポスモノトス別の第二ノ實施形ノ筋面闘ヲポスモノトス

セラルベキ「マスク」ニ關ス・類似装置トシテ特ニ潜水艦ノ染組員ニ依ツテ使用ハ類似装置トシテ特ニ潜水艦ノ染組員ニ依ツテ使用リノ栗組員ヲ脱出セシメ得ルタメノ救命具人造肺或

本登明ノ目的ハロ呼吸ニ依リ所開死室作用ヲ同避ン本登明ノ目的ハロ呼吸ニ依リ所開死室作用ヲ同避カテ森・固キ綿付ニ依リ密ニ閉鎖セラレタルニニ特ハテ森・四キ綿付ニ依リ密ニ閉鎖セラレタルニを沖、カメ「マスク」看用者ニ直接ロア通シを断煙空氣ヲ供カメ「マスク」人傷平平行硝子ヲ通シ陸面ヲ作ル事ナクシテ見ル事ヲ得

一、完全「マスク」が顔ニ充分密着セラレスク」ヲ次ノ如クシテ即チスク」ヲ次ノ如クシテ即チスク」ヲ次ノ如クシテ即チ

、口片ハ何等ノ困難ナク嵌合セラレ「マスク」着用

三、「マスク」ヲ被リタル後鼻ガ密ニ締付ケラレ 者ガ充分整ヘル顎ヲ有セザル場合ニ於テスラモ固持 丽 セラレ凡ユル方向ニ運動シ得ル如ク黢黢被覆體ごニ 岡面ヨリ認メラルル如ク鼻締付部(d)ハ外部ヨリ可動 次ニ 闘面 ニ付本發明ヲ説明スペシ

ノ密着部ヲ場合ニ依ツテハ又外部ヨリ變更シ得ル如「マスク」着用者ガ時ニ歪メル鼻ヲ有スル場合ニモ此 或ハ水歴又ハ空氣歴ニ依リ幾分移動シタル場合外部 **夕完成スル點ニ存セリ締付部ガ外部作用例へバ衝撃** ハ後方ニ位徴セシムルモノナリ 容易ニ適合セシメ而モ鼻上ノソノ座着部ヲモ使用中 鼻縮付部/ショシテ外部ョリ存在スル總テノ形ノ顔ニ 依り「マスク」壁白ト結合セラレタリ禭謨被覆體(ハ)ハ

鼻締付部(鱼ハ胸部工)ノ端部一側上二鼻ニ適合セシメ

呼吸口片ヲ「マスク」内部ノ「マスク」接續片ニ設ヶ且 之等ノ困難及不利ハ短キ折曲蛇管ニ固着セラレタル 壁ヲ超ヘヲ外部ニ突出シ而モ鼻締付部ノ把手ノ受容 該呼吸口片上ニ「マスク」内部ニ向ツテ開キ「マスク」 可能ナリ此ノ蝶番ハ「ピン」(区及鼻締付部(点)ノ接手中 條子が存在ス脚部上及口ハ蝶番医ノ周圍ニ於テ廻轉 テ有スル一種ノ鐵ヨリ成レリ脚部(の)間ニハー個ノ發 側ニ於テハ二個ノ脚部(o)ヲ締付部ノ作動用把手トシ 固々締付ケルタメノ雑謨片或ハ遊謨縟団ヲ有シ他ノ

事ハ從 來不可能ナリキ

ョリ且潜水中ニ鼻翼上ノ鼻締付部ノ着座ヲ改變スル

スク」壁ノ近クニ少クトモ一個ノ折曲部ヲ備フルヲ 及作動ニ役立ツベキ護謨被覆體ヲ設ケタル點ニ存ス 於テ鼻締付部ハ該鼻締付部ニ着座スル中空鋲ニ依り 得而シテ該環ハ一本ノ「ピン」ヲ有シソノ「ピン」上ニ シテ役立チ綠部橫斷面ハ皿形ナル環ヲ固着スル事ヲ 殊ニ有利トス護謨被覆體中ニハ鼻締付部用支持體ト ル本發明ニ依リ除去セラルルナ リ韼謨被殺體ハ「マ 「マスク」内部ニ向ツテ開ケル護謨被獲體(こ)[此ノ中 所二固持セラルル環口中二支承セラレタリ (A上二於ケル移動性ノタメニ被覆體で)ハ總テノ方向 或ハ帶(4)等(或ハ線)ニ依り遊読被覆體(ご)内ノ目的個 鬪]ヨリ成レリ「ピン」[基ハソノ兩端部ト共ニ締メ帶 ニ座着シ「ピン」(4)上ヲ滑動シ得べキ 中空鋲(を)(第四 一個ノ環形折曲部(2)ヲ備ヘタリ此ノ折曲部及「ピン」 ニ締付部ノ發條性把手(是)ガ突入セリ)ハ少クトモ

移動スル事ヲ得

リラハ環(ユヲ被覆體で)内ニ嵌メ込ムべキ搾線(エ)ニ依 シメラレタリ此ノ構造ニ依リ環(5ハ被殺體(c)内ニ殊 ゲラレタリ卽チソノ綠部EJハ閾面ニ示ス如ク樹曲セ 第五闘ニ於ラ蝶番[4]ノ環(5)ハソノ横断面ガ皿形ニ曲 セラレタリ 「マスク」內ノ護謨被覆體(ご)ノ下方ニ在ル「マスク」接 依り顔ニ「マスク」ラ被ル事ヲ妨グル事ナク且締付部 ツテ行ハル ニ良好ニ保持セラル而シテ此ノ保持ハ本質施形ニ在 續片(単二ハ呼吸口片(単が短キ折曲蛇管(臭ニ依り固治 ガ常ニ鼻ノ近クニ在ルガ如キ位置ニ保持セラル ニ向ツラ運動スル事ヲ得他方縁付部(亞ハ被衝體c)ニ

> 個ノ折曲部でラ備ヘタル特許請求ノ範園記載ノ 遊謨被獲體(c)ガ「マスク」壁(Dノ近クニ少クトモ

立チソノ縁部横斷面ガ皿形ナル環互ヲ固着シ該環 水中「マスク」 證謨被覆體c)内ニ鼻締付部(3ノ支持體トシテ役

(五八該鼻締付部ニ座着スル中空銀で)ニ依り移動シ ハーピン」をす有シ且該「ピン」上ニ於テハ鼻締付部

得ル特許請求ノ範圍ノ水中「マスク」

シ闘面ニ明示セル如ク短キ折曲蛇管(9)ニ固着セラレ ツテ開放シ「マスク」璧[5]ヲ超エテ外部へ突出セル誸 ニ裝着シ前記呼吸口片ノ上方ニハ「マスク」内部ニ向 、ル呼吸口片(ロ)ヲ「マスク」内部ノ「マスク」接續片(ヨ)

特許請求ノ範囲

本文所裁ノ目的ニ於ラ本文ニ詳説

ラレ凡ユル方向ニ運動シ得べキ鼻縁付部(臭ノ 把手(臭 謨被覆體(c)ヲ配設シ該被複體ハ之ヲ外部ヨリ可動セ

ノ受容及作動ニ役立ツ如クナシタル事ヲ特徴トスル

